

2025年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年4月30日

上場会社名 日本フェンオール株式会社 上場取引所 東
コード番号 6870 URL <https://www.fenwal.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中野 誉将
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 中島 昭 TEL 03-3237-3561
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第1四半期の連結業績(2025年1月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第1四半期	3,859	5.5	608	0.5	568	△14.1	746	34.6
2024年12月期第1四半期	3,656	△10.0	605	△3.2	662	5.0	554	30.6

(注) 包括利益 2025年12月期第1四半期 127百万円 (△81.8%) 2024年12月期第1四半期 702百万円 (38.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第1四半期	133.21	-
2024年12月期第1四半期	98.94	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年12月期第1四半期	19,173	13,503	70.4	2,408.06
2024年12月期	19,521	13,585	69.6	2,422.68

(参考) 自己資本 2025年12月期第1四半期 13,503百万円 2024年12月期 13,585百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	-	37.00	-	37.00	74.00
2025年12月期	-				
2025年12月期(予想)		37.00	-	37.00	74.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2025年12月期の連結業績予想(2025年1月1日～2025年12月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,600	△7.3	500	△57.7	545	△59.9	619	△44.5	110.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 1 Q	5,893,000株	2024年12月期	5,893,000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 1 Q	285,522株	2024年12月期	285,522株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 1 Q	5,607,478株	2024年12月期 1 Q	5,607,478株

（注）期末自己株式数及び期中平均株式数の算定に当たり控除する自己株式数には、「役員向け株式交付信託」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益が改善する中、緩やかな回復基調で推移したものの、物価の上昇や金利・為替の動向、米国の政策動向による影響など先行き不透明な状況が続きました。

このような環境の下、中核事業であるSSP部門はスペックイン営業とともに、改修工事やメンテナンスの取込みに注力しておりますが、第1四半期までの足取りはやや重たい状況にあります。一方、消防ポンプ部門は、国内消防ポンプに加えて消防車も順調に推移いたしました。

以上の結果、受注高は2,897百万円(前年同期比1.2%増)、売上高は3,859百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

利益面におきましては、①SSP部門での改修工事の原価低減、②サーマル部門での高採算製品の増加、③消防ポンプ部門の増収増益を主因に営業利益は608百万円(前期比0.5%増)となりました。

経常利益は為替差損等により568百万円(前期比14.1%減)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、在外子会社の清算終了に伴い「関係会社清算益」322百万円を計上したこと等により、746百万円(前期比34.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

SSP (Safety Security Protection) 部門

当該部門におきましては、前期までの電力等基幹産業向けを中心とした大口案件の反動もあり、受注高及び売上高は減少いたしました。

以上の結果、受注高は1,155百万円(前年同期比19.0%減)、売上高1,165百万円(前年同期比16.0%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、昨年6月に資本業務提携を実施いたしました西華産業株式会社との協業による販路拡大、ガス消火設備のスペックイン営業の推進、既設の改修やメンテナンスの取込み強化等により、受注獲得を目指してまいります。

開発の状況につきましては、新製品3アイテム(爆発抑制装置・ガス消火設備・熱感知器)のプロジェクトチームを組成しスタートさせており、製販技が一体となり体制強化を図ってまいります。

サーマル部門

当該部門におきましては、主力製品である熱板及びセンサーの販売先である半導体市場における装置需要の一時的な在庫調整の影響を受け、受注高及び売上高はともに微減となりました。

以上の結果、受注高は459百万円(前年同期比1.4%減)、売上高は505百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

今後の見通しにつきましては、生成AI向けなど半導体製造装置分野で需要拡大が見込まれる状況にあるものの、今後のEV向け需要の変動や同業他社との競合等もあり、事業を取り巻く環境には不確実な要素もあると考えており、技術営業活動の推進等、開発本部との連携強化を図りながら情報の感度を高めるとともに、付加価値のある活動に注力してまいります。

生産に関しましては、製造工程の見直しや設備のリニューアルなど、生産体制の強化に取り組んでまいります。

開発の状況につきましては、市場ニーズに合わせた機能や性能の実現を目指した熱板の開発とともに、温度調節器やサーモスイッチなど既存製品のリニューアル開発も継続しております。

メディカル部門

当該部門におきましては、主力製品である海外市場向け人工腎臓透析装置の終息に向けた最終オーダーへの対応により、受注高、売上高ともに前期比で増加いたしました。

以上の結果、受注高は357百万円(前年同期比48.3%増)、売上高は303百万円(前年同期比4.9%増)となりました。

今後は、2026年12月までの同装置のスムーズな製造受託終息に向けて取り組んでまいります。

PWBA (Printed Wiring Board Assembly) 部門

当該部門におきましては、既存取引に限定されており生産量が伸び悩む中、受注高及び売上高ともに微増となりました。

以上の結果、受注高は243百万円(前年同期比0.6%増)、売上高は248百万円(前年同期比7.8%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、価格競争が厳しい中、実装技術や装置組立ノウハウの活用による付加価値の創出に取り組み、新規案件の獲得に注力してまいります。

消防ポンプ部門

当該部門におきましては、国や地方自治体向けの消防ポンプ及び消防車の販売において、一部一過性のものもありますが、足許は順調に推移しております。

以上の結果、受注高は681百万円(前年同期比39.6%増)、売上高は1,636百万円(前年同期比32.1%増)となりました。

今後の見通しにつきましては、消防ポンプの買い替え需要の確実な取込みの他、消防車の仕様標準化や生産体制の見直しにより収益性改善に取り組んでまいります。加えて、非常用浄水装置などの災害対策製品のラインナップ拡充を図り、新市場の開拓などの営業推進を積極的に行い、収益体質の強化に努めてまいります。

開発の状況につきましては、主力製品である水冷式消防ポンプのモデルチェンジと小型非常用浄水装置の新規開発に注力してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、19,173百万円となり、前連結会計年度末19,521百万円に比べ348百万円(1.8%)減少しております。主な減少要因は「投資有価証券」430百万円(14.9%)であり、主な増加要因は「受取手形及び売掛金」194百万円(10.7%)によるものであります。

負債合計は、5,669百万円となり、前連結会計年度末5,936百万円に比べ266百万円(4.5%)減少しております。主な減少要因は「工事未払金」179百万円(42.1%)、「未払法人税等」91百万円(27.7%)であります。

純資産合計は、13,503百万円となり、前連結会計年度末13,585百万円に比べ81百万円(0.6%)減少しております。主な減少要因は「その他有価証券評価差額金」291百万円(22.3%)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年12月期の連結業績予想につきましては、2025年2月10日に公表した連結業績予想から変更はありません。なお、引き続き今後の業績動向を踏まえ精査しており、修正の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,289,149	6,231,490
受取手形及び売掛金	1,821,929	2,016,055
電子記録債権	1,433,443	1,400,460
完成工事未収入金及び契約資産	1,088,646	936,135
製品	835,204	832,317
仕掛品	425,819	423,007
原材料	1,858,417	1,964,095
その他	93,606	95,741
貸倒引当金	△3,899	△3,899
流動資産合計	13,842,316	13,895,404
固定資産		
有形固定資産	1,666,560	1,661,174
無形固定資産		
のれん	694,942	665,986
その他	115,515	119,587
無形固定資産合計	810,457	785,574
投資その他の資産		
投資有価証券	2,883,727	2,452,778
退職給付に係る資産	127,549	149,733
その他	211,891	249,011
貸倒引当金	△20,650	△20,650
投資その他の資産合計	3,202,518	2,830,873
固定資産合計	5,679,536	5,277,622
資産合計	19,521,852	19,173,027
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,796,717	1,936,106
工事未払金	426,962	247,392
短期借入金	600,000	700,000
1年内返済予定の長期借入金	295,920	295,920
未払法人税等	332,042	240,068
賞与引当金	-	97,495
役員賞与引当金	-	4,000
製品保証引当金	372,917	376,218
その他	849,800	710,131
流動負債合計	4,674,360	4,607,331
固定負債		
長期借入金	344,380	270,400
役員株式給付引当金	10,985	12,156
退職給付に係る負債	225,609	226,867
資産除去債務	58,494	58,512
製品改修関連損失引当金	451,262	446,896
その他	171,662	47,696
固定負債合計	1,262,394	1,062,528
負債合計	5,936,754	5,669,860

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996,600	996,600
資本剰余金	1,460,517	1,460,517
利益剰余金	9,828,567	10,366,048
自己株式	△413,653	△413,653
株主資本合計	11,872,031	12,409,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,304,888	1,013,599
為替換算調整勘定	323,148	-
退職給付に係る調整累計額	85,029	80,055
その他の包括利益累計額合計	1,713,066	1,093,654
純資産合計	13,585,098	13,503,167
負債純資産合計	19,521,852	19,173,027

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,656,955	3,859,911
売上原価	2,402,767	2,570,315
売上総利益	1,254,188	1,289,596
販売費及び一般管理費	649,117	681,542
営業利益	605,070	608,054
営業外収益		
受取利息	318	1,202
為替差益	57,050	—
受取保険金	—	3,000
その他	3,299	2,298
営業外収益合計	60,668	6,500
営業外費用		
支払利息	2,607	3,397
為替差損	—	41,775
その他	431	429
営業外費用合計	3,039	45,602
経常利益	662,699	568,953
特別利益		
投資有価証券売却益	—	57,508
関係会社清算益	—	322,819
特別利益合計	—	380,327
特別損失		
製品改修関連損失引当金繰入額	25,146	—
特別損失合計	25,146	—
税金等調整前四半期純利益	637,553	949,280
法人税、住民税及び事業税	198,482	225,741
法人税等調整額	△115,718	△23,405
法人税等合計	82,764	202,336
四半期純利益	554,789	746,944
親会社株主に帰属する四半期純利益	554,789	746,944

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
四半期純利益	554,789	746,944
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	290,441	△291,288
為替換算調整勘定	△140,331	△323,148
退職給付に係る調整額	△2,665	△4,974
その他の包括利益合計	147,444	△619,411
四半期包括利益	702,233	127,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	702,233	127,532

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)
減価償却費	49,228千円	74,038千円
のれんの償却額	28,955千円	28,955千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	消防ポンプ 部門	計		
売上高								
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	160,401	510,431	289,565	230,888	1,238,479	2,429,766	—	2,429,766
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	1,227,188	—	—	—	—	1,227,188	—	1,227,188
顧客との契約 から生じる収益	1,387,590	510,431	289,565	230,888	1,238,479	3,656,955	—	3,656,955
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,387,590	510,431	289,565	230,888	1,238,479	3,656,955	—	3,656,955
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,387,590	510,431	289,565	230,888	1,238,479	3,656,955	—	3,656,955
セグメント利益	474,310	114,141	21,657	5,990	144,055	760,155	△155,084	605,070

(注) 1 セグメント利益の調整額△155,084千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年3月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 2
	S S P 部門	サーマル 部門	メディカル 部門	P W B A 部門	消防ポンプ 部門	計		
売上高								
一時点で移転さ れる財又はサー ビス	171,852	505,601	303,788	248,989	1,636,130	2,866,363	—	2,866,363
一定の期間にわ たり移転される 財又はサービス	993,548	—	—	—	—	993,548	—	993,548
顧客との契約 から生じる収益	1,165,401	505,601	303,788	248,989	1,636,130	3,859,911	—	3,859,911
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	1,165,401	505,601	303,788	248,989	1,636,130	3,859,911	—	3,859,911
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,165,401	505,601	303,788	248,989	1,636,130	3,859,911	—	3,859,911
セグメント利益	282,073	132,336	22,967	38,308	291,855	767,541	△159,487	608,054

(注) 1 セグメント利益の調整額△159,487千円は、全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。